

実践の環^わを広げよう

第3次 食育推進基本計画

平成28年度から令和2年度まで



若い世代を中心とした食育の推進

20歳代～30歳代の若い世代が、食に関する知識を深め、意識を高めて心身の健康を増進する健全な食生活を実践し、その知識や取組を次世代に伝えつなげていけるよう食育を推進します。



多様な暮らしに対応した食育の推進

家庭生活の多様化に対応し、子供や高齢者を含む全ての国民が、健全で充実した食生活を実現できるよう、コミュニケーションや豊かな食体験にもつながる共食の機会の提供等を行う食育を推進します。



健康寿命の延伸につながる食育の推進

健康づくりや生活習慣病の発症・重症化の予防を推進することにより、健康寿命を延伸し、子供から高齢者まで全ての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現に向け食育を推進します。



食の循環や環境を意識した食育の推進

食料の生産から消費までの一連の食べ物の循環を私たち一人一人が意識しながら、食品ロスの削減等環境にも配慮していけるよう食育を推進します。



食文化の継承に向けた食育の推進

郷土料理、伝統食材、食事の作法など、日本の伝統的な食文化に関する国民の関心と理解を深め、その優れた特色を保護・継承していけるよう食育を推進します。

